

実践レポート

【報告者】 栗原 光

【学年】 3年 【教科・単元名など】 理科・こん虫を調べよう

【実践内容】 昆虫のからだの一部を観察する。

・デジタルフォトビジョンを使って昆虫のからだの一部をTVに映し出す。



・気がついたことを発表する。

- ・チョウの口はストローみたいだ
 - ・バッタの足は後ろが太い
 - ・カブトムシの足は、爪のようなものがある。
 - ・トンボの羽は、模様がきれい。
 - ・細かいところまで見えて、おもしろいね。
- ・他の虫を提示し、比べる。
- ・足の数は同じだけど、形が違っているね。
 - ・口は虫によって全然違う。
 - ・どうして虫によってこんなに足の形が違うのかな。

【反省】

自分達が捕まえてきた虫を観察することは楽しいが、難しい。また、視点を与えても、なかなか細かいところまでは見る事ができない。ところが、デジタルフォトビジョンを使うことにより、全員が同じもの(昆虫)を観察し、同じ部位(足、口など)に注目することができた。大きくはっきり見えることにより、虫のからだの一部が神秘的なものになり、観察する意欲が高まったといえる。また、複数のものを同時に映し出すことによって、比較して観察することもでき、自分が捕ってきた虫をみんなの共通の教材とすることができた。

既存の写真データ(ネット上のファイルや図鑑のCD)などに比べて、向きや大きさなどの自由がきくのも良いと思う。

<参考文献> なし